場所　１年４組教室

第１学年４組　国語科学習指導案

授業者　小鹿　由比奈

１　単元　「いにしえの心にふれる　蓬莱の玉の枝―『竹取物語』から」
～作品の見どころについて考えよう～
探究課題「古典では、昔話はどのように描かれているのだろう」

２　本時の指導

（１）段階　「活用」　８／８　時間

（２）目標

・仲間の考えと自分の考えを比較して、新しい視点を得ることができる。
（「活用」に関わる目標）

（３）本時の指導展開

時間	学習活動	教師の手だてと支援
0	１　『竹取物語』の内容を音読する。	・前時で学んだ内容を振り返るために、言葉の意味を考えながら音読をするよう伝える。
3	２　学習課題を確認する。	・話し合いを円滑に行うために、前時で制作したポップの内容を確認する時間を設定する。
	学習課題　仲間のポップを基に見どころについて考えよう	
5	３　完成したポップを班で交流する。 ・絵本と古典を比べてみると、絵本では書かれていない帝の場面があった。そこが見どころだと思ったので、「絵本に書かれない帝の気持ち」というキャッチコピーでポップを作った。 ・くらもちの皇子がうそをついた場面が共通している。そこを見どころにして、「うその理由は…恋！？」というキャッチコピーでポップを作った。	**◎古典の見どころに注目することができるように、「絵本と古典との共通点または相違点はどこか」と「内容が一目でわかるキャッチコピーか」という二つの観点について発表するよう伝える。**
15	４　ポップを鑑賞し、付箋に感想を記入して貼る。 ・「絵本に書かれない帝の気持ち」ってキャッチコピーがいいな。 ・くらもちの皇子のうその理由について共感できておもしろい。	・全員が感想をもらうことができるよう、先に隣の班の感想を書く時間を設け、その後、ギャラリーウォーク形式で感想を書く時間を設定する。 ・全員が感想を記入することができるよう、生徒の活動を見ながら適宜助言を行う。
35	５　特に気になった仲間のポップを発表する。	
40	６　仲間からの感想を読み、振り返りを書く。 「絵本と古典を比べると、古典の方がかぐや姫を思う帝の気持ちが書かれていると思った。古典はあまり興味がなかったけれど、かぐや姫のことが好きでうそをついたところが、今の私たちと似ていておもしろいと思った。」	・探究課題に迫ることができるように、仲間の感想を基に、「新しく気付いたこと」いう視点で振り返るように伝える。

３　評価

・仲間の考えと自分の考えを比較して、新しい視点を得ることができたか。
（班での関わり合いの様子、ワークシートへの記述、振り返りの内容から判断する。）